

第18回委員会

日時：2007年1月6日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：永田委員長，荻原，原井，古川，増井，渡邊

<事務局>磯部

[配付資料]

- 1 . Suggestions Needing Discussion From IME ICC4 participants,3 November 2006 / Compiled Responses as December 6,2006 (14ページ-A4，渡邊委員)
- 2 . 2006年12月1日付けRDA-L宛メール (2ページ-A4，事務局)
- 3 . RDA-Resource Description and Access / Scope and Structure (11ページ-A4，古川委員)
- 4 .Discovery , delivery, distributed inventory management :Lorcan Dempsey's weblog, November 28,2006(1 ページ-A4，永田委員長)
- 5 . Scoping collective collections : Lorcan Dempsey's weblog, October 30,2006(1 ページ-A4，永田委員長)
- 6 .Libraries and the Long Tail : Some Thoughts about Libraries in a Network Age D-Lib Magazine April 2006(10ページ-A4，永田委員長)
- 7 . 第30期目録委員会記録No.16 (2ページ-A4，事務局)
- 8 . 第30期目録委員会記録No.17 (案) (2ページ-A4，事務局)

[報告・連絡事項]

1 . 平成18年度書誌調整連絡会議

国会図書館が11月30日に開催した書誌調整連絡会議について、原井委員から報告があった。今回も、昨年に引き続き特定のテーマを設けず、この1年の書誌データ及び書誌調整について、国内外の現状・課題を提示し、意見交換を行った。内容は下記のようなものである。

- ・ 国立国会図書館からは、メタデータ等にかかわるトピックやIFLAの報告があった。
- ・ IME ICC4についての報告を永田委員長が行い、宮沢彰教授(NII)から補足があった。
- ・ 上田修一教授(慶応義塾大学)から、この1年の図書館目録全般にかかわるコメントが述べられた。
- ・ 出席者からは、システム入れ替えの際のデータの劣化や、多くの退職者が出る2007年の問題があげられた。
- ・ 図書館の目録が、過度の集中化により、中心となる機関に頼りすぎていて、今後目録や件名の教育やコミュニティづくりが大切であると考えられる、との意見があった。

## 2．IME-ICC4の再提案に関する回答について

渡邊委員から、資料1に基づきIME-ICC4の前回提案の投票結果にもとづく12月の再提案（前回提案の2,3,7,8）および回答案について説明があった。なお、回答は、委員会メンバーリストでの永田委員長、渡邊委員の回答案により既に提出した。

今回の提案で、アジアからの意見について、一定のコンセンサスをとる方向は見えたと思われる。

## 3．全国図書館大会の資料組織化関係の分科会への参加について

目録委員会は、分科会が設置されても委員会としての参加はしないこととなった。

### [検討事項]

#### 1．RDAについて

古川委員から、資料2について紹介があった。ALA目録委員会のPaul J Weiss氏のメールであり、同委員会がRDA案について提出した意見に対して、JSCが根幹にかかわる部分を検討しないと批判した内容である。これに対するJSC側の反応は今のところない。

引き続き、古川委員から資料3に基づき、RDA構築の3つのframework（このdocumentとthe RDA Strategic Plan, the RDA Objectives and Principles）や個々の項目に即した説明があり、討議が行われた。

また、このScope and Structureがもし改訂版とすれば初版が作成された時期はいつなのか、現在のRDAに影響をおよぼしているのかどうかとの質問があった。

#### 2．Lorcan Dempsey's weblog について

永田委員長から、資料4および5に基づき説明があった。

#### 3．Libraries and the Long Tail について

永田委員長から、資料6に基づき図書館におけるデリバリーシステムの重要性や目録との関連について説明があった。また、今後デジタル化が進む中での目録規則の対象は何であるのか等の問題点が提起された。

利用を意識した新NCRの方向性や、資料を提供し、他機関と連携していくためにどのような目録規則を作っていくのか等について討議が行われた。

また、現在の目録の一極集中化の問題が論じられた。

### 次回の委員会の予定

2月10日（土）

3月17日（土）

以上